

ソフィアセンターと柏崎高等学校図書館が連携—高校生の利用促進と レファレンスサービス活用による課題解決力の向上を目指して

ソフィアセンター（柏崎市立図書館）は、柏崎高等学校の学校図書館と連携し、課題研究や読書をする際にソフィアセンターの蔵書を活用してもらい取り組みを始めました。

高校生は学習・読書室の利用が多く、蔵書の活用は小中学生と比べると非常に少ない状況です。また、レファレンスサービスの利用はほとんどありません。

柏崎高等学校との連携をきっかけとして、市内の他の高校生の利用促進とレファレンスサービスの活用を働きかけていきます。

1 連携の概要

(1) 課題解決支援

柏崎高等学校の生徒が取り組む柏崎サイエンスプロジェクト（KSP）課題研究テーマを学校図書館とソフィアセンターで共有し、ソフィアセンターの蔵書とレファレンスサービスを用いて生徒へ課題解決を支援します。

(2) 課題図書 of 簡単予約

柏崎高等学校 1 年生の課題図書 300 冊のうち、ソフィアセンターが所蔵する図書約 200 冊のリストを、市ホームページ内の「おすすめの資料」に掲載し、簡単に検索や利用状況の確認、予約ができるようになりました。

2 高校生の利用状況

(1) 令和元(2019)年度 高校生への貸し出し状況(延べ件数)

16 歳～18 歳 2,750 件(参考：小学生 62,565 件、13 歳～15 歳 5,817 件)

(2) 柏崎高等学校と連携前後の生徒への貸し出し状況(延べ件数)

連携前(4～7 月)41 件→連携後(8 月以降)43 件

3 レファレンスサービス（調べもの相談）

レファレンスサービスとは、学習・研究・調査を目的とする図書館の利用者に、図書館員が必要な資料や情報などを提供・紹介して、調べのお手伝いをすることです。ソフィアセンターでは年間 1,300 件を超える相談を受けています。

